

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 31124

区分	イベント	担当課	福祉支援課	作成日	平成24年5月16日	
事業名	社会福祉大会		開始年度	昭和57年度	予算科目	3-1-1-03-02

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第3部 健康でゆとりとふれあいのまちづくり	章	第1章 総合的な保健福祉環境の創造
節	第1節 地域に根ざした保健福祉の推進	基本施策	2 住民参加と協働による保健福祉活動の推進
取組みの基本方向	(4)高齢者、子ども、障害(児)者等がふれ合える機会について、検討します。		
根拠法令等	なし		
目 的 (誰・何を対象に、何のために)	・社会福祉関係法に規定されている生活上の障害を克服して自立した方や、障害者福祉の増進に尽力した方及び社会福祉の増進に寄与した方を表彰することで、町民の福祉意識の高揚を図る。		
内容・方法 (何を行っているのか)	・地域福祉の向上と町民福祉意識の高揚を図るため、福祉に功績があった方々を顕彰するとともに、アトラクションを実施している。		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『地域に根差した保健福祉の推進』について「満足」と感じる住民の割合(%)		35.5		41.0		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	参加人数(人)	増	・一部の式典及び二部のアトラクションへの参加者	計画値		500	500	500
				実績値	500	500	500	
				達成度※自動計算		100.0	100.0	
活動指標	応募件数(件)	増	・福祉啓発に伴う福祉作文・ポスターの応募件数	計画値		103	103	103
				実績値	103	103	110	
				達成度※自動計算		100.0	106.8	

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度			基準年度(決算) (H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)事業費(円)			1,033,465	1,033,465	1,002,900	1,003,000
(B)概算職員数(人)			0.300	0.300	0.300	0.300
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算			2,490,000	2,490,000	2,490,000	2,490,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算			3,523,465	3,523,465	3,492,900	3,493,000
単位当たりコスト ※自動計算			7,046.9	7,046.9	6,985.8	
財源内訳 (円)	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源 ※自動計算		3,523,465	3,523,465	3,492,900	3,493,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目		判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性	直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か	高 高	A
	必需性	当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか		
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している		○	A
	基準年度と比較して成果が向上している		○	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い 費用が増加し、成果も低下している		向上 成果 率 100.00%	A
			縮減 費用 率 99.13%	
総合評価			※自動判定	
			良好に実施できている	

5. 特記事項

・本大会は町と社会福祉協議会とで実施している。

6. 1次評価(担当課)

評価結果	☐ 現状維持	☒ 改善して実施する	☐ 廃止
理由	・第2部のアトラクションについては、老人クラブ等に動員をかけて実施していることから団体に負担がかかっている。		
今後の方向性	・本大会は福祉表彰が主であるため、表彰式のための開催も考えられることから、第二部のアトラクションの内容について検討をする必要がある。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	ただし、第二部のアトラクションの内容の検討及び、来場者アンケートの実施などによる効果の検証(どの程度参加者の福祉意識が向上したか)について検討すべきである。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☒ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	高齢者、身体障害者、子どもなどが一堂に会する重要なイベントではあるが、動員の負担軽減の観点からも、アトラクションの内容の工夫及び重複するイベントとの統廃合を検討すべきである。		

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

第二部のアトラクションの内容について改善が必要であるが、本事業については、これまで各種福祉関係団体に動員をしていることから、今後、各団体にアンケート調査等を実施し意見等を集約し検討したい。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☐ 現状維持	☒ 改善して実施する	☐ 廃止
理由・改善方針	平成26年度に社会福祉大会を開催するまでに、第二部のアトラクションの見直しを行う。その際には、関係者等にアンケートを行うなどし、意見を踏まえるものとする。		